

元町議の井上次男さんと前副町長の近藤泰行さんが北海道社会貢献賞を受賞

令和3年度の北海道社会貢献賞(自治功労者)で、元町議会議員の井上次男さん(恵庭市)と前副町長の近藤泰行さん(新町)が12月に表彰されました。

井上さんは4期16年にわたり町議会議員として活躍、近藤さんは44年10カ月間にわたり町職員として奉職し、それぞれ地域振興に貢献されました。

ガーデニング講習会

町コミュニティ運動推進協議会(山下昌秀会長)主催の冬のガーデニング講習会が12月10日、総合福祉センターで開かれ、約20人が年末年始を彩る寄せ植え作りに汗を流しました。

有限会社梅原商店の梅原智哉さんが講師を務め、「多肉・観葉植物の世界」というテーマで開かれました。梅原さんから植え方のコツなどを聞いた参加者は、複数の植物を選んで寄せ植えしました。



寄せ植えに励む参加者たち

旧山口邸古民家の移築再生見学会



旧山口邸古民家の移築再生現場を見学する参加者たち

厚真町で2棟目となる旧山口邸古民家の移築再生見学会が12月18日、町内豊沢地区で開かれ、町民など約30人が明治期の伝統的な家屋について見聞を深めました。

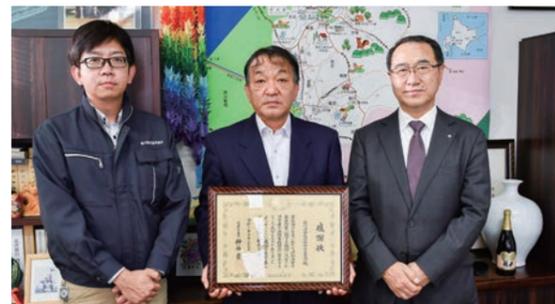
旧山口邸古民家は、福井県出身者が明治42年に鹿沼地区に建設した平屋の越前型民家。仏間の奥に僧侶の部屋があるのが特徴で、地主の家といわれています。

見学会は、柱の骨組みに屋根が張られた移築再生現場で行われ、北海道の歴史的建造物の有識者である札幌市立大学の羽深久夫名誉教授が解説しました。移築再生事業を行う町を代表して大坪理事は「開拓者の血と汗が染みこんだ古民家を通じて、開拓の歴史を楽しんでいただけたらいい」と話しました。3月中に完成する予定です。

水産庁が37年余にわたり海難事故ゼロの鶴川漁協厚真支所を表彰

海難事故の防止活動などを続けている鶴川漁協厚真支所が、今年度の水産庁長官表彰・ゴールド賞を受賞し、12月3日に宮坂町長に受賞を報告しました。

同支所は、海難防止講習会や海難防止パレードなどに積極的に取り組んでいるほか、道内最長となる海難事故ゼロを37年余り継続していることが、高く評価されました。



表彰を受けた鶴川漁協厚真支所の小定雅之専務理事と澤口伸二副組合長理事(左から)

被災木の彫刻「風を集めて」披露 彫刻家の北村哲朗さん(登別市)が製作

北海道胆振東部地震で被災した厚真町の倒木を使った彫刻「風を集めて」が12月1日、厚真町総合福祉センターロビーで披露されました。

作者は、50年前に鹿沼地区で暮らしたことのある登別市の彫刻家の北村哲朗さん。震災の記憶を大勢の人の心にとどめたいと、樹齢推定80年のナラ材で製作しました。

宮坂町長は「記憶を後世に引き継ぎ、震災の象徴として大切にしたい」と語り、北村さんは「作品と触れ合い語り合うことで、新たな風が生まれてくれたら」と話しました。



被災木の彫刻を制作した北村さん



委嘱状を手にする近藤さんと渡辺さん(左から)

地域おこし協力隊2人に委嘱状交付

町は12月1日、苫小牧市の渡辺悦寿さんと札幌市の近藤一郎さんに地域おこし協力隊の委嘱状を交付しました。

2人は、地元企業で研さんを重ね、「食の分野で町の特産品を使った新商品の開発や販路拡大などを目指し、全国に町の魅力を発信したい」と抱負を語りました。

厚真ライオンズクラブと町社会福祉協議会が防災協定締結

厚真町社会福祉協議会(大橋正治会長)と厚真ライオンズクラブ(大捕孝吉会長)は12月1日、災害時における災害ボランティアセンター支援に関する協定を結びました。

協定書によると、厚真ライオンズクラブは、ボランティアの移動や活動に必要な車両を提供するなど、活動を支援します。



防災協定を締結した大捕さん(左)と大橋さん



オリジナルのSDGsバッチを手にする関係者たち

HBCが被災木を使ったSDGsバッチを町に贈る

北海道放送株式会社は12月1日、町内の被災木のトドマツで作ったオリジナルのSDGs(持続可能な開発目標)バッチ50個を町に寄贈しました。

70周年を迎えた同社の地域貢献活動の一貫で、札幌市内のデザイナーがデザインしました。町長を訪ねた同社メディア戦略局統括の長嶋潤二さんは「地域貢献活動の一貫です。報道などを通じて、今後も被災地を応援したい」と話しました。

北海道指導林家に黒川利道さん(幌内)を認定
森を育てるコンクールでは幌内自治会が優秀賞



優秀賞を受賞した大原自治会長(左)と北海道指導林家の腕章をつけた黒川さん(中央)

令和2年度の北海道指導林家に黒川利道さん(幌内)が認定され、12月24日に総合福祉センターで認定証が交付されました。併せて、本年度の森と人を育てるコンクールで優秀賞を受賞した幌内自治会にも賞状が授与されました。

北海道指導林家は、全道で354人、胆振管内では黒川さんが19人目。胆振総合振興局森林室の中村喜裕局長から認定証と指導林家の腕章を受け取った黒川さんは「四季の彩を添える山林を取り戻したい」と話し、優秀賞を受賞した同自治会の大原博自治会長は「受賞に恥じないように、森づくりに励みます」と抱負を語りました。

全国民生委員児童委員連合会が
3人を永年勤続表彰

全国民生委員児童委員連合会(得能金市長)は、町内の阿部清一さん(豊川)、上田俊行さん(朝日)、加藤恵子さん(新町)の3人を永年勤続で表彰し、12月27日に町長室で宮坂町長から賞状が伝達されました。

3人は、いずれも平成22年12月から民生委員に就任し、住民の生活状態の把握や相談・助言などを行い福祉の増進に関する活動を担っています。



永年勤続表彰を受賞した阿部さん、加藤さん、上田さん(左から)

統計調査員の永年功労で知事感謝状
梅藤正晴さん(浜厚真)と松原謙二さん(美里)

長年にわたり統計調査の推進に尽力した梅藤正晴さん(浜厚真)と松原謙二さん(美里)に、北海道知事から感謝状が贈呈されました。梅藤さんは20年以上、松原さんは10年以上にわたり各種統計調査事務に従事しました。

交通安全祈願祭
今年1年の交通安全願う

厚真町交通安全協会(大浦真則会長)は1月11日、厚真神社で交通安全祈願祭を行い、12人が今年1年の交通安全を祈願しました。大浦会長は「昨年は、交通事故死や負傷者はゼロだった。町民が安全に過ごせるように頑張りたい」と話しました。

大居伊三郎さん(上野)に百寿の敬老祝い金贈呈

町は1月14日、百寿を迎えた大居伊三郎さん(上野)に敬老祝い金を贈りました。大居さんは、伝達に訪れた町長と笑顔で会話を弾ませ、「ありがとうございます」と何度も感謝を告げました。



百寿の敬老祝い金に感謝する大居さん



厚高インフォメーション
Atsuma High school Information

学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

2年生の見学旅行

(12月7~9日)
当初、10月に予定していた見学旅行。新型コロナウイルス感染症の影響で日程を変更し、やっと実施できました。伊勢神宮や名古屋城などを見学し、文化と歴史を学びました。

2年生の苦東視察見学会

(12月15日)
2年生が11月に3日間行った職場体験学習を発表。有

休みに入りました。

北海道経済産業振興局の企画で実施。株式会社Jファーム、株式会社ダイナックスを視察しました。職場体験を通じて視野を広げることができました。今後の進路選択へつなげたいと思います。

■屋内体育大会(12月17日)
生徒会執行部と体育委員が、企画・運営しました。スポーツに親しみ、生徒同士の親睦を深めることが目的です。体育館が会場で、開会式に続いてバレーボールやバスケット、ドッジボール、三本引きで青春の汗を流しました。表彰式でも互いの健闘をたたえ合い、有意義な一日になりました。

■職場体験学習発表会・合格発表会(12月24日)
全校生徒が体育館に集まりました。生徒は、パソコンやプロジェクトを活用し、各自で作成したパワーポイントで発表しました。

職場体験学習発表会では、2年生が11月に3日間行った職場体験学習を発表。有

限会社木本建設、こども園つみぎ、有限会社蔵重重工、こぶしの湯あつま、株式会社たのしい、苦東石油備蓄株式会社、北海道エネルギー株式会社、自衛隊などでの貴重な体験を発表しました。また、合格発表発表会では、進路先が決定した3年生が、就職・進学それぞれについて発表しました。この体験が後輩につながり、ますます充実していくことを期待しています。

■全校集会(12月24日)
校歌斉唱で、集会が始まりました。表彰伝達では、実用数学技能検定(3級2人)、実用英語技能検定(準2級1人・3級1人)、日本語ワープロ検定(2級・準2級各1人、3級5人)の合格者が、清水美由紀校長から壇上で1人ずつ合格証書を受け取り、全校生徒が拍手でたたえました。校長講話、佐々木務行進路指導主事の話の後、各教室で担任から諸注意等があり、冬休みに入りました。

短歌

雑煮食む我に気遣ふ妻なれどまだ七十九と小言言ふなり
ホタン雪降り来る中を出で行けばニキ口先から夕陽が輝く
雲間よりキラリと見ゆるこの年の初の光に望み託して

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十五号」から抜粋

新町 徳地美登
上野 宮崎静恵
本町 飛谷富夫

発表します!!

将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



とみなが 富永 彩さん

みくだ 福田 莉子さん

まるやま 丸山 さくらさん